

海水浴を安全に!

遊泳中における事故の半数以上が20歳未満、うち死者・行方不明者は、**全て10代後半**です。(過去5年統計)

海の特徴を 知ろう!

波や風

一定ではなく変化します。突然の大きな波に飲み込まれ溺れることも。強い風はフロート遊具が転倒したり、遠くまで流されたりします。

離岸流

見た目では分からない沖に向かう強い流れがありあつという間に沖まで流されます。海岸と平行に泳ぐことで、抜け出せることもあります。

海底地形

海では海底が見えづらく急に深くなったり、石や岩等の存在で、溺れたり怪我をしたりする危険があります。マリンシューズ等の着用も効果的です。

危険生物

海にはクラゲやエイ等、毒を持つ生物もいます。「チクッ!」と刺されてパニックになることも。見かけたら、近寄らず絶対触らないで。

遊泳事故を 防ごう!

🏊 開設された海水浴場で!

海浜事故のほとんどが海水浴場以外で起きています。事前に調べて、監視員等がいる海水浴場を利用してください。

🏊 無理・無謀な行動はやめて!

体調不良で海に入らず、準備運動もしっかり行ってください。無謀な行為による死亡事故も多く発生しています。

🏊 天気の悪いときは、海に行かない!

事前に天気予報で風や波をチェック!天気は変化します。白波が立っていないか風が強まっていないか、確認してください。

うみのもしもは
118番


Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



お子様が、友人同士で海へ遊びに出かけるときは、保護者の方からもご指導をお願いいたします。

北海道では、過去5年に52名の方が遊泳中の事故に遭っており、その**半数以上が20歳未満**です。

遊泳中の事故は、一瞬にして**命を落とす**危険があります。特に、体力のある**中学・高校生の死亡事故**が多く、事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。

事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「**海水浴場**」の**利用**をお願いします。

お子様の元気な「ただいま!」
が聞けるように…

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の**事故の9割以上**を占めます。

その他、思わぬ事件・事故に巻き込まれる可能性もあります。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があり、遊んでいる途中でも変化します。白波が立っていないか、風が強くなっていないか注意が必要です。

●無謀な行動をしない

海では見た目では分からない強い流れや突然の大波、急な深みがあり、泳ぎが得意でも溺れる危険があります。

10代後半では「無謀な行為」が原因の死亡事故が多く発生しています。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用するなど、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は**118番**です。

行先、帰宅時刻の確認をし、元気な「ただいま!」が聞けるように…


Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



北海道教育委員会

第一管区海上保安本部